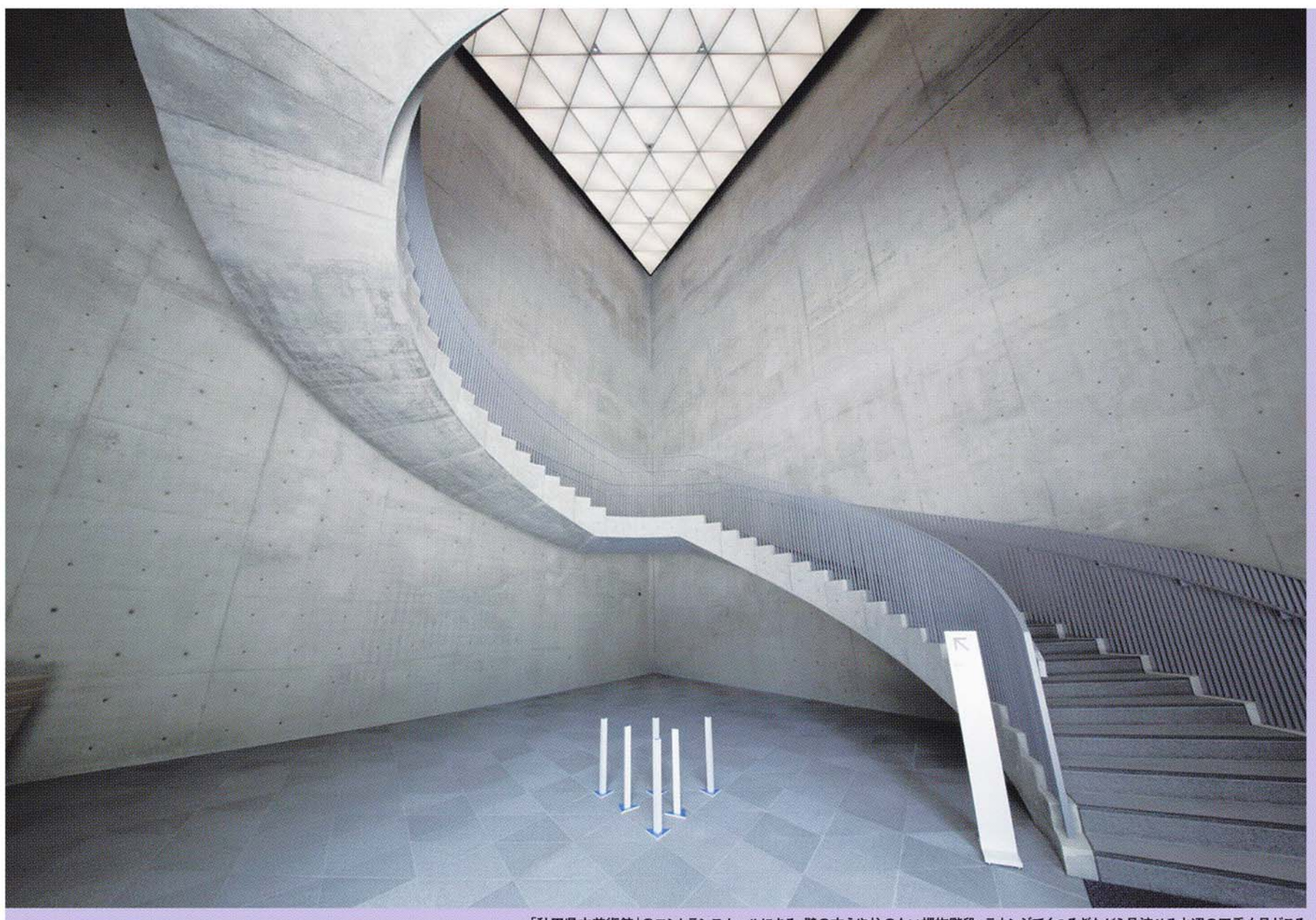
広告

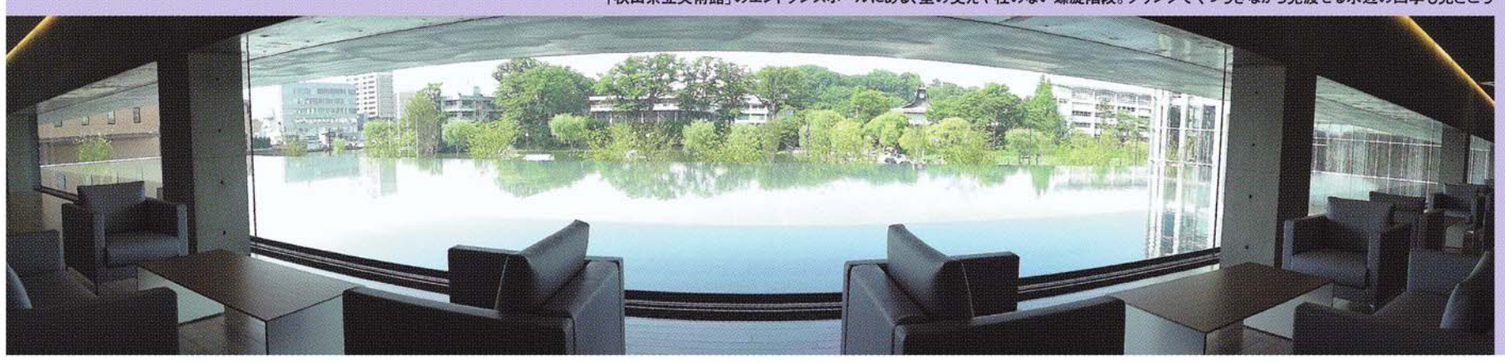
# 浸ってみませんか？ 奥ゆかしい秋田の「美」

## 秋田デスティネーションキャンペーン 12月31日まで

JRグループ6社は秋田県をはじめ関係自治体などと協力して、12月31日まで、秋田デスティネーションキャンペーン（DC）を開催中。「あきたにしました。」をテーマに、誰もがふと行きたくなる秋田を目指します。今回は芸術の秋、文化の秋にふさわしい「秋田まちなかアート巡り」と横手市「増田内蔵巡り」に出掛けてみましょう。



「秋田県立美術館」のエントランスホールにある、壁の支えや柱のない螺旋階段。ラウンジでくつろぎながら見渡せる水辺の四季も見どころ



## 斬新な建築が、大壁画を包み込む

「美の国あきた」への旅は、この3月に新投入した新幹線「スーパーこまち（E6系）」から始まります。小野小町をイメージしたシルエットに、竿燈（かんとう）まつりのちょうちんの明かり、なまはげの面の赤をアレンジした「茜色（あかね）」を使うなど、新幹線から早くも秋田モードを演出します。東京駅から最速3時間45分で、秋田駅に到着します。

「アート巡り」では、まず9月28日オープンの「秋田県立美術館」を訪ねます。秋田市中心街の文化コミュニティー「エリアなかいち」の一角に位置し、昨年7月に誕生した芸術と文化の交流拠点「にぎわい交流館AU（あう）」、ショッピングと食の複合商業施設「サンマルシェ」と合わせ、新名所として注目を集めています。

美術館は安藤忠雄氏の設計による三角形の斬新なデザインの建物で、ミュージアムラウンジから水庭、お堀の向こうに、秋田藩久保田城跡の千秋公園のうっすらとした紅葉が美しく広がります。8月31日、藤田嗣治（つぐはる）の大壁画『秋田の行事』の引っ越しが話題を呼びました。高さ3・65メートル、幅20・5メートルもの大壁画には、秋田の祭りと暮らしぶりなど秋田の全貌が表現されています。「秋田への藤田の思いがすべて込められています」と、壁画を所蔵する平野政吉美術財団事務局長の石川恵美子さん。「美の国あきた」を象徴する作品として旅人を出迎えています。

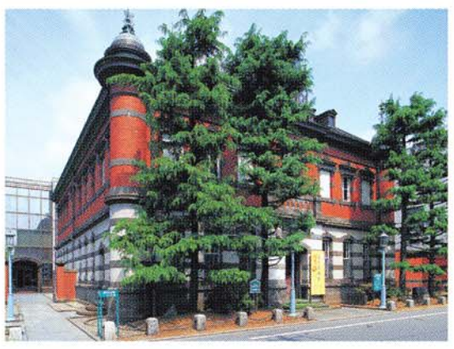
## 東洋と西洋の出合い、秋田蘭画

「美の国あきた」の底力は秋田蘭画に象徴されます。「秋田市立千秋美術館」は秋田蘭画の創始者、小田野直武、佐竹曙山らの秋田蘭画を多く所蔵しています。秋田蘭画は東洋画に西洋画の技法を持ち込み、写実表現を実現した洋風画です。小田野直武は平賀源内の推薦で『解体新書』の挿絵を描いたことでも知られています。

「秋田市立赤れんが郷土館」は旧秋田銀行本店で、明治末期建築の洋風建築で、国の重要文化財に指定されています。郷土館には世界的建築家ブルーノ・タウトが絶賛した版画家勝平得之のすべてが分かる「勝平得之記念館」があります。

秋田の伝統芸能では、「秋田市民俗芸能伝承館（ねぶり流し館）」が必見です。東北3大祭りの一つ、竿燈まつりをはじめ秋田の祭りが紹介、展示されています。竿燈の実演（土日祝の時間限定）、体験コーナーもあります。

「アート巡り」で秋田の文化を堪能した後は市内の川沿いにある「秋田温泉さとみ」で、心地よい疲れを癒やしてみてはいかがでしょうか。源泉かけ流しの温泉があり、大きな露天風呂も魅力です。



鮮やかな色彩が空の青に映える「秋田市立赤れんが郷土館」

「秋田市立千秋美術館」には、秋田ゆかりの作品が並ぶ

## どこか懐かしい、増田のまちなみ

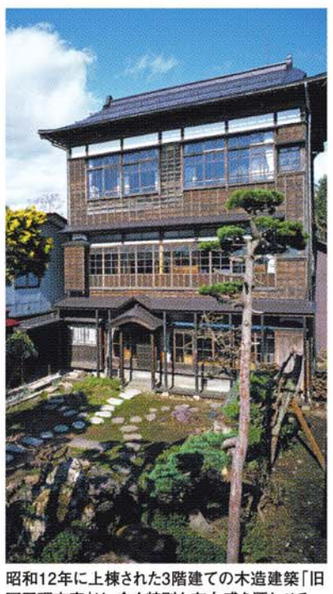
「内蔵（うちぐら）の町」として人気急上昇中なのが横手市の増田町です。「角館の武家屋敷」に続く秋田県2番目となる国の「重要伝統的建造物群保存地区」選定が期待されています。それに先立ち横手市では、この7月1日、横手市増田伝統的建造物群保存地区」に指定しました。

増田町は江戸時代から秋田藩、仙台藩を結ぶ小安街道と手倉街道の中継点であり、商品の集散地として栄え、水力電気会社、増田銀行（北都銀行の前身）もあった商人の町です。短冊状の間口10メートル、奥行き100メートル規模という広大な敷地に、住宅、商店が並んでいますが、通りからは内蔵の存在は分かりません。横手市総務企画部伝建推進室主査の高橋道明さんは「内蔵も素晴らしいが主屋もまた素晴らしい。路地に入り、また裏に回って、2度3度と驚いていただきたい」と、そのスケール、豪華さを誇ります。

内蔵は40棟以上残り、現在も生活の中で住宅、商店として使われています。公開している家は15棟ほどで、家の主人が自ら案内するのが特徴でもあります。珍しい木造3階建ての「旧石田理吉家」等の修繕工事で、「『東日本鉄道文化財団』から3年連続修理助成を受けたのをきっかけに、伝建地区への取り組みに弾みがつきました」と、高橋道明さんは財団の助成に感謝しています。旧石田理吉家は藤田嗣治も逗留し、絵画制作した名家で、横手市指定文化財でもあります。

「蔵の駅」（旧石平金物店）は、観光物産センターとして旅人に便宜を図ります。

増田にある蔵は、鞘建物に覆われているため、外からその存在は分からない



昭和12年に上棟された3階建ての木造建築「旧石田理吉家」は、今も特別な存在感を漂わせる

増田町のある横手市を訪ねたら、今や全国区のご当地グルメ「横手やきそば」も楽しみ

隣接する湯沢市に300年以上前から伝わる「稲庭うどん」は、日本三大うどんの一つ

### 各施設のお問い合わせ先

- **秋田県立美術館**
  秋田市中通1-4-2 TEL:018-853-8686
- **秋田市立千秋美術館**
  秋田市中通2-3-8アトリオン内 TEL:018-836-7860
- **秋田市立赤れんが郷土館**
  秋田市大町3-3-21 TEL:018-864-6851
- **秋田市民俗芸能伝承館**
  秋田市大町1-3-30 TEL:018-866-7091
- **秋田温泉さとみ**
  秋田市添川字境内川原142-1 TEL:018-833-7171
- **増田観光物産センター「蔵の駅」**
  横手市増田町増田字中町103 TEL:0182-45-5311（増田町観光協会）

### 秋田デスティネーションキャンペーン開催中!

JR東日本では、12月31日まで開催される秋田デスティネーションキャンペーンにあわせた、おトクな旅行商品を数多くご用意しております。
おすすめは交通や宿泊が組み合わせ自由な「セレクトパック秋田」です。フリーパス、レンタカー、体験メニューなどオプションも充実しています。温泉につかりながら絶景の紅葉を眺め、今が旬の郷土料理や地酒を味わう旅に出かけてみてはいかがでしょう。

詳しくは、JR東日本の主な駅や「びゅうプラザ」にある専用パンフレット、またはホームページ(http://www.travel.eki-net.com)をご覧ください。

JR東日本旅客鉄道株式会社